



足立区立六月中学校

令和2年度
第9号
校長 塚原 洋

「初心」

全国の中学生在受験という人生の大切な節目を迎えています。六月中学校においても入試が本格化し私立高校の一般入試や都立高校の一次・分割前期募集の学力検査が終了しました。志望校に全員が合格し巣立っていくときはもう間もなくです。高校入学にむけて抱えている素直な気持ちを忘れず進んでいってもらいたいと思います。

さて、「初心忘るべからず」という言葉は有名ですが、どなたも一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。現在この言葉の「初心」は、「初志貫徹」の「初志」の意味で「初めに思い立った志望」という意味や「物事に慣れると過信したり、慢心したりしてしまうが、最初の頃の志を忘れてはいけない」と使われていることが多いといいます。

この「初心忘るべからず」の言葉は、観阿弥（かんあみ）から伝えられた「芸」の極意を世阿弥（ぜあみ）が著書「花鏡」（かきょう）の奥の段に記した芸術論としても有名なものです。

室町幕府三代将軍足利義満の庇護のもと貴族や武士に親しまれていた猿楽や田楽などの芸能を観阿弥・世阿弥親子が「能」として芸術にまで進化、大成し武家の社会で愛好されたのです。そこには三ヶ条の口伝があります。



「是非の初心忘るべからず」（初心のころの芸の未熟さを忘れず、芸を向上させていかねばならない）

「時々の初心忘るべからず」（修行の各段階で芸に挑むとは、その時々の初心者であることを忘れてはならない）

「老後の初心忘るべからず」（老境に入っても芸が完成したということはない、老境の初心を忘れてはならない）

六月中学校の生徒や私たち大人において、大切であり忘れてはいけないことが「初心忘るべからず」ではないでしょうか。

幾つになっても、どの年代においても、初めてのことや新しいことに取り組む際の新鮮な気持ちや初々しい気持ち、未熟であり、つたなかったときの気持ちを忘れてはならないということ、初心は一生続いていくということなのです。

その年齢に応じた課題や問題に遭遇したときに、自分自身の未熟さやつたなさを受け入れながら、その新しい事態へ向けて準備し、挑戦していく心構えや姿勢を身に付けておくということが大切であり、その姿勢があれば新しい試練に立ち向かうことができ、失敗を恐れる必要がないということなのでしょう。

受験は中学三年生にとり、人生の中で初めての試練であった生徒もいるはずです。それを乗り越えていくには15歳の経験しかありません。もちろん失敗もしたくないはずです。

観阿弥の教えは、このような試練を乗り越えていくための「考え方」を示しているのではないかと考えます。

それぞれの人生のステージ（段階）や年代、年齢において初心者なのですから失敗して当たり前なのです。

学校内に置き換えれば、その年その一日は、二度と巡ってこないものです。生徒達には準備をさせながら、新しい学びへと「挑戦する場」を設けていかなければなりません。

指導する教師も「例年と同じ」「これまでの教え方通り」という気持ちではなく、準備し、挑戦し、失敗を重ねながらも生徒と共に前進し、進化していかなければならないということです。

気持ちを奮い立たせ、「今日は、今年は、これをやり遂げる！このレベルまでを目標とする！」という挑戦する気持ちが大切であり、実践や実行に移していくことが進化や変化を生み、前進していくことに繋がるはずです。

学校の教育活動へのアンケートを昨年末にご提出いただきました。

また、コミュニティースクールとして学校運営協議会委員の皆様にご授業を参観していただき学校評価を行いました。アンケート結果は以下に掲載してあります。ご覧頂きますようお願いいたします。

学校評価を改善と改革に繋げ六月中学校を発展させていくため、確かな実践に基づいた変化を生み出していきたいと思っております。ご理解とご協力よろしく申し上げます。

令和3年度のスタートに向けて

保護者の皆様には本校教育活動へのご理解とご協力ありがとうございます。昨年にとらせていただいたアンケート結果をまとめました。全てではありませんが一部抜粋してお知らせいたします。

本アンケート結果で見られる課題を受け止め、令和3年度へ向けてスタートをきり、教職員一同さらに六月中学校を発展させていきたいと考えております。

生徒の健全育成と学力の定着向上には、学校の努力とご家庭のご協力、ご支援が必要です。今後よろしくお願ひします。

【生徒による自己診断】

調査結果（肯定的に回答した割合：数値は%）

12月実施

項目	全体	1年	2年	3年
六月中での友人との生活が楽しい。	95.5	98.7	97.8	90.2
先生は悩みや心配に耳を傾けてくれる。	88.9	88.7	90.6	87.6
授業は楽しい。	74.8	82.3	72.4	69.7
授業は理解できている。	75.7	74.8	77.6	74.7
授業には「ねらい」が提示してある	94.5	91.1	95.6	96.9
授業の終わりに振り返りをしている	90.2	91.2	91.3	88.3
家庭でも学習している。	77.4	66.1	78.6	87.6
部活動には積極的に取り組んだ。	84.0	89.9	81.2	80.9
将来の夢や希望がある。	70.3	68.6	68.8	73.5
あいさつは進んでしている。	84.8	84.9	81.9	87.7

- 学校生活には満足している。先生との関係性も良好である。
- 生徒自身は学習を理解していると考えているが、学習内容が定着していない教科があるので、家庭学習の実践が課題である。
- ねらいを提示した授業展開が行われてきている。振り返りが課題である。

【保護者よる診断】

調査結果（肯定的な回答をした割合：数値は%）

12月実施

項目	全体	1年	2年	3年
子供は六月中の生活に満足している	92.1	89.3	94.7	92.3
子供は良い友人間系を築けている。	93.7	89.3	97.1	94.8
子供はいじめのない生活を送っている	93.8	96.2	91.1	94.1
教師は悩みや心配に耳を傾けてくれる。	88.1	88.0	86.6	89.7
授業は理解できている。	66.1	63.3	64.9	70.1
家庭学習の習慣が身に付いている	46.9	41.8	47.1	51.9
子供は自分の将来や進路を考えている	57.1	36.7	58.2	76.6
部活動には積極的に取り組んだ。	82.8	86.1	81.4	81.1
子供はプリント等を届けている	51.7	54.4	51.5	49.3
学校便りホームページで取組を知らせている	86.3	84.8	89.6	84.5

- 全体として学校生活には満足している。先生方との関係も良好である。
- 六月中において友人関係は良好と感じている保護者が多い。
- 授業での理解が進んでいないと感じている。
- 家庭での学習習慣の未定着が課題であると感じているご家庭が多い。
- 家庭への配布物が保護者の手元に届かないときがある。

◇コミュニティースクール 学校運営協議会委員の皆様による授業観察◇



今年度は新型コロナウイルス感染症対策のために学校運営協議会委員の皆様への授業観察とさせていただきました。

本来ならば学校公開週間での保護者の皆様や開かれた学校づくり協議会委員の皆様にも、本校の実践をご覧頂き評価して頂きたかったところです。

1年生 数学

頂いたご意見を参考としながら、より良い授業の実践に結びつけていければと思います。今後ともどうかよろしくお願ひします。

1年生 技術 本立ての作成



1年生 理科

大型ディスプレイを活用し授業を実践しています。

1年生 英語

オールイングリッシュによる授業です。先生も生徒もよく頑張っていると評価を頂きました。



学校運営協議会と開かれた学校作り協議会について

本校はコミュニティースクールです。

○コミュニティースクールとは

学校運営協議会が設置された学校のことをいいます。設置には法的根拠があります。

○学校運営協議会の役割とは

学校運営に参画する組織として学校経営方針を承認し運営や教育活動に意見を述べ、教職員の任用に対して教育委員会に意見を述べることができる組織であり、開かれた学校づくり協議会役員会としての役割も担います。

○開かれた学校作り協議会とは

地域の力を学校や生徒につなげる、活動を中心とした学校支援組織です。

3つの目標 ①地域に根ざした特色ある学校づくり

②学校支援活動の充実

③家庭と地域の教育力の向上

5つの機能 協議機能 学校の現状や課題を教職員や保護者、地域で協議する

評価機能 学校関係者評価など学校評価活動に参画する

支援機能 学校運営に参画する、地域人材を活用する

調整機能 学校・家庭・地域の役割分担をし、調整する

実施機能 地域資源を活用し、土曜事業や家庭教育等の事業を実施する

創立当初より六月中独自の生徒健全育成会が組織され、その後開かれた学校作り協議会が始まり、学校運営協議会の設置と発展してきました。これは生徒のためになることを保護者・地域と学校が一体となり「地域とともにある学校」「地域に開かれた学校」であることを証明しています。今後ともご支援とご協力をよろしくお願い致します。詳しくは学校ホームページ「学校紹介」に活動報告がありますのでご覧ください。



足立区版 開かれた学校作り協議会型コミュニティースクール

～引き続きご協力のお願～ 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

新型コロナウイルス感染症対策を引き続き行っています。家を出る前の手洗いや帰宅後の手洗い、消毒などお子様へのお声かけをお願いします。生活指導部からでている新しい生活様式の徹底プリントを確認し、規則正しい生活を進めるようお声かけをお願いします。

登校時には清潔なハンカチやハンドタオル、ティッシュペーパーを持たせ、マスクの正しい着用の徹底など引き続きご協力ください。感染症対策においてはご家庭の協力がなくては成り立ちません。

中学生はワクチン接種対象外です。子供たちの生活を守るためには、生徒自身に注意させると共にご家庭の協力が必要です。今一度、下記をお読みいただき、必要なときには必ずご連絡ください。

1 ご家庭での確認

(1) 健康チェック

- ① 毎朝のお子様の検温をおこない、ご家族も検温するなど健康観察を徹底してください。
※検温を忘れる生徒が増えてきています。
- ② 発熱や咳が出るなど風邪症状がある場合には登校を控えていただければと思います。
- ③ 土日に体調を崩した場合などもヘルスチェック表に記入させてください。

2 学校への連絡

次の場合には学校に速やかにご連絡ください。

- ① お子様に発熱や風邪症状がある。
- ② ご家族がPCR検査を受け、お子様が濃厚接触者として特定された。
- ③ お子様がPCR検査を受ける。
- ④ お子様が海外から帰国や入国した。
- ⑤ お子様のPCR検査が判明した。
- ⑥ ご家族が風邪症状、濃厚接触者、PCR検査を受ける、海外から帰国、入国した。
※⑥の場合はお子様の登校に制限はありませんが、ご連絡いただけると助かります。